奄美の活性化に期待

― 和瀬バイパスが開通 ―

約5・8キロの幹線道路 南部大島との大動脈に

名瀬市朝戸と大島郡住用村城を結ぶ国道58号の和瀬バイパスが29日、開通した。1992年に事業着手して以来、約9年5カ月、総事業費約167億円を要した大プロジェクト事業は、県内最長となる新和瀬トンネル（1号・2435m）を含む約5・8キロの幹線道路。同バイパスの完成で、名瀬市と大島郡住用村間の平均所要時間が約6分の短縮となった。

テープカットで開通を祝う関係者
＝名瀬市朝戸で

名瀬市朝戸と南部大島は一気に近くなり、奄美大島の産業、経済、文化の発展及び地域の活性化が期待されている。

開通式には須賀龍郎県知事、平田隆義名瀬市長はじめ、施工に携わった建設業者ら約250人が出席、同バイパスの完成を祝い、安全と発展を祈願した。

開通式では神事の後、畠義利奄美建設業協会長や堀通宏鹿島建設㈱九州支店副支店長、須賀知事、平田市長らがくす玉を割り、テープカット。続いて、名瀬小学校吹奏楽部を先頭に参加者らでパレード、通り初めを行った。

会場を住用村に移して行われた祝賀会では、開通祝賀協賛会長の平田市長が「和瀬バイパスの完成は奄美大島の産業、経済はもとより、教育、医療にも大きな貢献が期待できる」と祝辞を述べ、須賀知事も「地域の活性化につながるもの」と期待している。今後も住民生活の利便性、活性化を図るため、和光トンネルなどの開通を推進していきたい」と挨拶した。

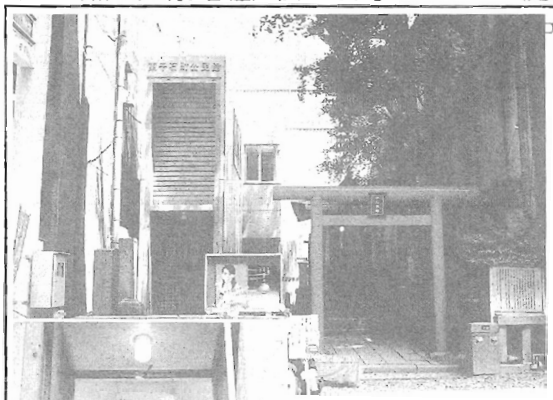
同バイパスは県内最長の新和瀬トンネル、和瀬と小和瀬を結ぶ小和瀬トンネル（2号・515m）、小和瀬と城を結ぶ城トンネル（3号・246m）の3本のトンネルと、8基の橋を含む約5・8キロの幹線道路。県は1992年から総事業費167億円をかけて整備を進めてきた。同バイパスの完成で峠越えの109カ所のカーブが11カ所となり、距離で2・68キロ、所要時間も約6分の短縮となった。

正午には一般車両も開通となり、待ちわびた人たちが次々と訪れ、快適な道路でのドライブを満喫していた。

なお施工業者は次の通り。和瀬トンネル1号1工区＝飛鳥建設㈱・東亜建設工業㈱・㈱町田建設JV▽同2工区＝鹿島建設㈱・丸福建設㈱・畠山建設㈱JV▽和瀬トンネル2号＝小牧建設㈱・㈱平良建設JV▽和瀬トンネル3号＝㈱植村組・㈱平良建設JV

内地材の積極活用がテーマ

東千石町公民館



アートボックス

鹿児島市のピラモールとグルメ通りに挟まれた細長い敷地に、由緒ある千石天神がひっそりとたたずんでいる。その境内の一角に東千石町公民館が竣工した。

本来我が国の神社は山や森を背景にして建立されており、この千石天神のように繁華街の真ん中に立地する場合、それに変わる人工的な瓦屋根など、第2の自然を創りだすことも必要。六月燈と京の

壁面に取り付けた檜の半割も

祇園祭りのイメージが重なり、背景には縦格子のある町屋が風景として浮かび、コンクリート打ち放しの壁面に取り付けた檜の半割や、内地材の積極的な活用が設計者のテーマとして表れている。

お社の正面左側から緩やかな階段で2階の公民館ホールにつなげ、階段下は御神輿（おみこし）や諸道具の収納庫、屋上を子供会などの創作活動の場とするなど設計者の工夫がうかがえる。

▽施工名＝東千石町公民館
▽場所＝鹿児島市東千石町8－2
▽設計＝米澤享・鹿児島寺岡オートドア㈱
▽施工＝㈱志多組
▽構造＝RC造2階建延べ248・72㎡

「こんにちは市長です」

勤労者福祉充実を質問

よかセンター 利用者ら市長と交流

赤崎義則鹿児島市長との意見交流会「こんにちは市長です」が、同市の勤労者交流センター（よかセンター）で行われ、建設業、印刷業、コンサルタントなど約45人が参加して、同施設の利用方法、勤労者福祉の充実、今後の市政の推進について、積極的な意見を交流した。市長との交流会は昭和61年にスタートし、今年で16年目となる。

冒頭、赤崎市長が「同施設も、開発計画から20年掛けてようやく完成しました。今後も勤労者のみなさんが、交流をして頂く場として有効に活用してほしい」と挨拶。

続いて、益満裕一氏（茂建設㈱）を司会に、勤労者交流センターの利用、余暇活用の現状、勤労者福祉の充実などについて参加者らから積極的な質問がなされ、赤崎市長は質問事項に対し丁寧に回答していた。

今後の市政に関して、インフラ整備の充実をしてほしいとの質問に赤崎市長は「市街地を中心に、今以上の道路の拡幅を行っていくのは難しい。しかし、現在進めている東西幹線道路、ふれあいスポーツランド建設に伴うアクセス道路の充実などは、早期完成に向けて努力したい。また、高麗通り線や、鹿児島駅周辺の高架構計画なども、地域住民の意見などを踏まえながら、計画案を策定してより現実的なものとして進めていきたい」と語った。

意見を今後の市政運営に役立てたい――と語る
赤崎市長＝鹿児島市の勤労者交流センターで

鹿屋緑化建設業協会奉仕作業

プロの技術で樹木剪定

大隅広域公園 日本庭園を1日がかりで

鹿屋緑化建設業協会（立元五男会長）はこのほど、肝属郡高山町と吾平町にわたる県立大隅広域公園の日本庭園で1日がかりのボランティア樹木剪定作業を実施した。

同公園は、大隅アリーナ21（多目的機能の屋内運動施設）、スポーツふれあい広場、多目的広場、ゴーカード場、ちびっ子広場、歴史の広場、冒険の谷、花の広場、ピクニック広場など整備されており、吾平山上陵に隣接していることもあって、年間の入場者は20万人を超えている。

手際よく樹木剪定を行う参加者ら
＝吾平町の県立大隅広域公園で

同協会では3年前の総会で同公園でのボランティア活動を決議し、これまで年1回、この剪定作業を続けている。

参加者を前に、総指揮を行った㈲上別府緑地建設の上別府浩専務取締役が「地域社会への貢献の一環として始めたこのボランティア活動も3回目を迎えた。蒸し暑い中での作業になるので、健康状態に十分留意し、安全第一に作業を進め、日頃の腕を振るって、きれいに仕上げてください」と指示。作業範囲や注意事項等を説明の後、午前8時30分頃から作業開始。

参加者は㈲郷原緑崩園と三和物産㈱が提供した2台の高所作業車や脚立を使ってアラカシ、クロガネモチ、イヌマキ、ヤマモモ、ケヤキなど高木類やサザンカ、ツツジなど刈り込みハサミを使い、手際よく、プロ集団ならではの技で、きれいに仕上げた。日本庭園だけでなく駐車場周辺の樹木剪定にまで手を伸ばし、夕方近くまでがんばった。

参加会員は次の通り。

㈱桜開発 ミズホ緑地開発㈱ 三和物産㈱ 尊農社緑地㈱ ㈲前原造園土木㈲上別府緑地建設 ㈱美木多植物園 ㈱立神植物園㈲郷原緑崩園 ㈲半田庭園土木 ㈱大丸グリーン 中央造園㈲ ㈲宮里建設

なお、ボランティア作業終了後は、肝属郡高山町の笠之原ボウリング場で懇親ボウリング大会を開き、親睦を深めた。

成績は次の通り。

【団 体】優勝＝ミズホ緑地開発㈱▽準優勝＝㈲上別府緑地建設▽3位＝㈱大丸グリーン

【個 人】優勝＝藤崎弘毅（㈲半田庭園土木）▽準優勝＝上別府浩（㈲上別府緑地建設）▽3位＝川崎修（㈱桜開発）

研り工事の御用命は
研 鹿児島県知事許可（般－13）第13295号
㈲始良ハツリ工業
始良郡始良町平松2602 ☎・FAX(0995)66-3289